

10:40受

1/3

様式9-1(1/2)
 (第18811報)

応急措置の概要 (原子炉施設)

平成30年10月24日10時30分

内閣総理大臣, 原子力規制委員会, 福島県知事, 大熊町長, 双葉町長 殿

第25条報告

報告者名 東京電力ホールディングス株式会社
 福島第一廃炉推進カンパニー
 福島第一原子力発電所
 原子力防災管理者 磯貝 智彦
 連絡先 0240-30-9301

原子力災害特別措置法第25条第2項の規定に基づき、応急措置の概要を以下の通り報告します。

原子力事業所の名称及び場所	福島第一原子力発電所 福島県双葉郡大熊町大字夫沢字北原22
特定事象の発生箇所(注1)	福島第一原子力発電所
特定事象の発生時刻(注1)	平成23年3月11日 16時36分(24時間表示)
特定事象の種類(注1)	非常用炉心冷却装置注水不能 (原災法政令第6条第4項第4号, 省令第21条第1項口)
発生事象と対応の概要(注2)	<p>(対応日時, 対応の概要)</p> <p>第12993報他でお知らせした、地下貯水槽周辺の観測孔において全ベータ放射能が上昇した事象、及び第13274報他でお知らせした、地下貯水槽i南西側及び北東側の漏えい検知孔水において全ベータ放射能が上昇した事象について、下記のとおり水の分析を実施しましたので、お知らせします。</p> <ul style="list-style-type: none"> 地下貯水槽観測孔 分析結果 [採取日 10月23日] 地下水バイパス(調査孔)、海側観測孔 分析結果 [採取日 10月22日] <p>今回の分析結果は、至近の分析結果と比較して有意な変動はありませんでした。</p> <p>引き続き、地下貯水槽周辺の監視を行うとともに、全ベータ放射能が上昇した原因を調査していきます。</p> <p>【公表区分：D続】</p> <p>※添付の有・無</p>
その他の事項の対応(注3)	なし

備考：この用紙の大きさは、日本工業規格A4とする。

(注1) 最初に発生した警戒事態該当事象の発生箇所、発生時刻、種類について記載する。

(注2) 設備機器の状況、故障機器の応急復旧、拡大防止措置等の時刻、場所、内容について発生時刻順に記載する。

(注3) 緊急時対策本部の設置状況、被ばく患者発生状況等について記載する。

2/3

2018年10月24日
東京電力ホールディングス株式会社
福島第一廃炉推進カンパニー

地下貯水槽観測孔 分析結果(2018年10月23日分)

地下貯水槽観測孔(i~iii)												
	A1	A2	A3	A4	A5	A6	A7	A8	A9	A10	A11	A12
採取時刻				7:32				7:39				7:46
全ベータ(Bq/L)				ND(22)				ND(22)				ND(22)

地下貯水槽観測孔(i~iii)							地下貯水槽観測孔(vi)					
	A13	A14	A15	A16	A17	A18	A19	B1	B2	B3		
採取時刻				7:52								
全ベータ(Bq/L)				ND(22)								

(注)NDは検出限界値未満を表し、()内に検出限界値を示す。

2018年10月24日
東京電力ホールディングス株式会社
福島第一廃炉推進カンパニー

地下水バイパス(調査孔)、海側観測孔 分析結果(2018年10月22日分)

	地下水バイパス 調査孔			海側観測孔						
	a	b	c	①	②	④	⑤	⑥	⑦	⑧
採取時刻		8:50	9:11		7:50	8:11		8:31		
全ベータ(Bq/L)		ND(20)	ND(20)		22	20		ND(20)		
トリチウム(Bq/L)		38	44		110	320		1,000*1		

半減期 トリチウム:約12年

* トリチウム以外のデータは10月23日にお知らせ済み。

(注)NDは検出限界値未満を表し、()内に検出限界値を示す。

*1 過去最高値

10:40受

1/2

様式0-1(1/2)

応急措置の概要(原子炉施設)

(第18812報)

平成30年10月24日10時30分

内閣総理大臣, 原子力規制委員会, 福島県知事, 大熊町長, 双葉町長 殿

第25条報告

報告者名 東京電力ホールディングス株式会社
福島第一廃炉推進カンパニー
福島第一原子力発電所
原子力防災管理者 磯貝 智彦
連絡先 0240-30-9301

原子力災害特別措置法第25条第2項の規定に基づき、応急措置の概要を以下の通り報告します。

原子力事業所の名称及び場所	福島第一原子力発電所 福島県双葉郡大熊町大字夫沢字北原22
特定事象の発生箇所(注1)	福島第一原子力発電所
特定事象の発生時刻(注1)	平成23年3月11日 16時36分(24時間表示)
特定事象の種類(注1)	非常用炉心冷却装置注水不能 (原災法政令第6条第4項第4号, 省令第21条第1項ロ)
発生事象と対応の概要(注2)	<p>(対応日時, 対応の概要)</p> <p>第8137報他でお知らせした、1号機放水路上流側立坑においてCs-137の濃度が上昇した事象、及び第10182報他でお知らせした、2号機放水路上流側立坑において全ベータ放射能及びトリチウム濃度が上昇した事象について、1号機及び2号機放水路立坑水の分析を実施しましたので、以下のとおり報告します。</p> <p>・福島第一原子力発電所構内1号機、2号機放水路サンプリング結果 [採取日 10月22日]</p> <p>今回の分析結果については、至近の分析結果と比較して有意な変動はありませんでした。今後も監視を継続していきます。</p> <p>【公表区分：その他】</p>
その他の事項の対応(注3)	なし

※添付の有・無

備考 この用紙の大きさは、日本工業規格A4とする。

(注1) 最初に発生した警戒事象該当事象の発生箇所, 発生時刻, 種類について記載する。

(注2) 設備機器の状況, 故障機器の応急復旧, 拡大防止措置等の時刻, 場所, 内容について発生時刻順に記載する。

(注3) 緊急時対策本部の設置状況, 被ばく患者発生状況等について記載する。

2/2

2018年10月24日
東京電力ホールディングス株式会社
福島第一廃炉推進カンパニー

福島第一原子力発電所構内1号機、2号機放水路サンプリング結果

単位:Bq/L

	1号機放水路立坑水		2号機放水路立坑水	
	上流側	下流側	上流側	下流側
採取日	10月22日	10月22日	10月22日	10月22日
採取時刻	9:30	9:16	9:40	9:19
Cs-134(約2年)	120	71	190	8.1
Cs-137(約30年)	1,300	850	2,100	89
全β	1,800	2,400	2,600	230
H-3(約12年)	140	380	120	270

* NDは検出限界値未満を表し、()内に検出限界値を示す。

14:51 受

1/9

様式9-1(1/2)

応急措置の概要 (原子炉施設)

(第18813報)

平成30年10月24日14時35分

内閣総理大臣, 原子力規制委員会, 福島県知事, 大熊町長, 双葉町長 殿

第25条報告

報告者名 東京電力ホールディングス株式会社
 福島第一廃炉推進カンパニー
 福島第一原子力発電所
 原子力防災管理者 磯貝 智彦
 連絡先 0240-30-9301

原子力災害特別措置法第25条第2項の規定に基づき, 応急措置の概要を以下の通り報告します。

原子力事業所の名称及び場所	福島第一原子力発電所 福島県双葉郡大熊町大字夫沢字北原22
特定事象の発生箇所(注1)	福島第一原子力発電所
特定事象の発生時刻(注1)	平成23年3月11日 16時36分(24時間表示)
特定事象の種類(注1)	非常用炉心冷却装置注水不能 (原災法政令第6条第4項第4号, 省令第21条第1項) (対応日時, 対応の概要) プラント関連パラメータ、タンクエリアパトロール結果等について、下記の通りお知らせいたします。
発生事象と対応の概要(注2)	<ul style="list-style-type: none"> ・プラント関連パラメータ [10月24日11時00分現在] ・集中廃棄物処理施設周辺 サブドレン水核種分析結果 [採取日 10月23日] ・福島第一原子力発電所構内排水路分析結果 [採取日 10月23日] ・福島第一港湾内、放水口付近、護岸の詳細分析結果 護岸地下水[採取日 10月19日] ・福島第一港湾内、放水口付近、護岸の詳細分析結果 護岸地下水[採取日 10月23日] ・福島第一港湾内、放水口付近、護岸の詳細分析結果 海水 [採取日 10月23日] ・発電所敷地内におけるモニタリング結果について、前回のお知らせから有意な変動はありません。 ・タンクエリアパトロール及び汚染水タンク水位計による常時監視において、漏えい等の異常はありません。 ・建屋滞留水の移送状況について、パトロール及び警報監視において、漏えい等の異常は確認されません。 <p>サブドレン他水処理施設一時貯水タンクK、地下水バイパス一時貯留タンクグループ1の当社及び第三者機関による分析結果については、共に運用目標値を満足していたことから、10月25日に排水を実施します。 排水開始・終了の実績については、別途お知らせします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・福島第一原子力発電所 サブドレン・地下水ドレン浄化水の分析結果 [採取日 10月20日] ・福島第一原子力発電所 地下水バイパス 一時貯留タンク分析結果 [採取日 10月18日] <p>【公表区分：その他】</p> <p>※添付の(有)・無</p>
その他の事項の対応(注3)	なし

備考 この用紙の大きさは、日本工業規格A4とする。

(注1) 最初に発生した警戒事態該当事象の発生箇所, 発生時刻, 種類について記載する。

(注2) 設備機器の状況, 故障機器の応急復旧, 拡大防止措置等の時刻, 場所, 内容について発生時刻順に記載する。

(注3) 緊急時対策本部の設置状況, 被ばく患者発生状況等について記載する。

福島第一原子力発電所 プラント関連パラメータ

2018年10月24日 11:00 現在

【留意事項】
各計測器については、故障やその後の性能減衰の影響を避けて、適切な使用環境
条件を確保しているものもあり、正しく測定されていない可能性のある計測器も存
在している。プラントの状況を把握するために、このような計測の不確かさも考
慮しながら、複数の計測器から得られる情報を活用して変化の傾向にも留意し
て総合的に判断している。

	1号機	2号機	3号機	4号機
原子炉注水状況	給水系 : 1.5m ³ /h CS系 : 1.4m ³ /h (10/24 11:00 現在)	給水系 : 1.4m ³ /h CS系 : 1.4m ³ /h (10/24 11:00 現在)	給水系 : 1.4m ³ /h CS系 : 1.4m ³ /h (10/24 11:00 現在)	
原子炉圧力容器 底部温度	VESSEL BOTTOM HEAD (TE-263-69L1) : 24.6°C 原子炉 SKIRT JOINT 上部 (TE-263-69H1) : 24.5°C VESSEL DOWN COMMER (TE-263-69G2) : 24.5°C (10/24 11:00 現在)	VESSEL WALL ABOVE BOTTOM HEAD (TE-2-3-69H3) : 30.8°C RPV温度 (TE-2-3-69R) : 29.3°C (10/24 11:00 現在)	スカートジャンクション上部温度 (TE-2-3-69F1) : 30.4°C RPV底部ヘッド上部温度 (TE-2-3-69H1) : 29.1°C (10/24 11:00 現在)	
原子炉格納容器 内温度	HVH-12A RETURN AIR (TE-1625A) : 24.8°C HVH-12A SUPPLY AIR (TE-1625F) : 24.4°C (10/24 11:00 現在)	RETURN AIR DRYWELL COOLER (TE-16-114B) : 31.1°C SUPPLY AIR D/W COOLER HVH2-16B (TE-16-114G#1) : 31.0°C (10/24 11:00 現在)	格納容器空調機戻り空気温度 (TE-16-114A) : 30.4°C 格納容器空調機供給空気温度 (TE-16-114F#1) : 28.5°C (10/24 11:00 現在)	
原子炉格納容器 圧力	0.70kPa g (10/24 11:00 現在)	1.43kPa g (10/24 11:00 現在)	0.35kPa g (10/24 11:00 現在)	
窒素封入流量 ※3	RPV (RVH) : 13.83Nm ³ /h (JP-A) : 14.29Nm ³ /h (JP-B) : -Nm ³ /h ※4	RPV : 11.47Nm ³ /h PCV : -Nm ³ /h (10/24 11:00 現在)	RPV : 16.66Nm ³ /h PCV : -Nm ³ /h (10/24 11:00 現在)	※4
原子炉格納容器 ガス管理システム 排気流量	20.3m ³ /h (10/24 11:00 現在)	15.28Nm ³ /h (10/24 11:00 現在)	18.19Nm ³ /h (10/24 11:00 現在)	
原子炉格納容器 水系温度 ※1	A系 : 0.00vol% B系 : 0.00vol% (10/24 11:00 現在)	A系 : 0.07vol% B系 : 0.06vol% (10/24 11:00 現在)	A系 : 0.03vol% B系 : 0.04vol% (10/24 11:00 現在)	
原子炉格納容器 放射能濃度 (Xe135) ※2	A系 : 指示値 1.04E-03 検出限界値 4.30E-04 Ba/cnt B系 : 指示値 1.26E-03 検出限界値 3.40E-04 Ba/cnt (10/24 11:00 現在)	A系 : 指示値 ND 検出限界値 1.5E-01 Ba/cnt B系 : 指示値 ND 検出限界値 1.4E-01 Ba/cnt (10/24 11:00 現在)	A系 : 指示値 ND 検出限界値 2.4E-01 Ba/cnt B系 : 指示値 ND 検出限界値 2.4E-01 Ba/cnt (10/24 11:00 現在)	
使用済燃料プール 水温度	25.1°C (10/24 11:00 現在)	25.5°C (10/24 11:00 現在)	24.4°C (10/24 11:00 現在)	22.6°C (7/20 11:00 現在) ※5
FPC 貯タンク 水位	2.15m (10/24 11:00 現在)	3.69m (10/24 11:00 現在)	2.89m (10/24 11:00 現在)	66.68×100mm (10/24 11:00 現在)

【計測器に関する情報】
※1 : 指示値がマイナスの場合は0.00vol%と記載する。(水素濃度が極めて低い場合は、計測精度によりマイナス表示される場合があるため)
※2 : 指示値が放射能濃度の管理システムの水素濃度を記載する。
※3 : 指示値が検出限界未満の場合はNDと記載する。原子炉格納容器ガス管理システムの放射能濃度 (Xe135) を比較する。
※4 : 窒素封入停止中。
※5 : 4号機使用済燃料プール冷卻系一次系ポンプ停止運用中のため、4号機使用済燃料プール水温度に関しては至近のデータを記載。

2018年10月24日

集中廃棄物処理施設周辺 サブドレン水核種分析結果

I-131 (Bq/L)

Table with 17 columns (10/7 to 10/23) and 9 rows of data for I-131 measurements at various locations.

Cs-134 (Bq/L)

Table with 17 columns (10/7 to 10/23) and 9 rows of data for Cs-134 measurements at various locations.

Cs-137 (Bq/L)

Table with 17 columns (10/7 to 10/23) and 9 rows of data for Cs-137 measurements at various locations.

※「-」はサンプリング・測定を実施していないことを示す。
※⑥は⑦が検出不可となつたため、地下水流の上流側として測定し、遡1回程程度の頻度で測定(2011/4/29~)。
※⑦は地下水流の下流側であることから、追加で測定(2011/5/26~)
※⑧を追加で測定(2011/5/30~)
※⑨を追加で測定(2011/8/2~)
※印は検出限界値未満を表し、() 内に検出限界値を示す。

<測定箇所>

- ①4号1/01建屋南東
②プロセスマン建屋北東
③プロセスマン建屋南東
④プロセスマン建屋南西
⑤異国体廃棄物貯蔵処理建屋南
⑥サイトハン方建屋南西
⑦廃材工作建屋 西側
⑧異国体廃棄物貯蔵処理建屋北
⑨サイトハン方建屋南東

3/9

4/9

2018年10月24日
東京電力ホールディングス株式会社
福島第一 廃炉推進カンパニー

福島第一原子力発電所構内排水路分析結果

単位: Bq/L

	A排水路						物揚場排水路					
	10月19日	10月20日	10月21日	10月22日	10月23日		10月19日	10月20日	10月21日	10月22日	10月23日	
採取日	8:05	7:43	7:48	7:50	8:12		8:10	7:48	7:53	7:55	8:06	
採取時刻	0.5	0	0	0	0		0.5	0	0	0	0	
降雨量(mm/日)	解析中	解析中	解析中	解析中	解析中		解析中	解析中	解析中	解析中	解析中	
流量(m ³ /秒)	ND(0.66)	0.79	0.79	1.2	ND(0.68)		ND(0.74)	ND(0.60)	ND(0.69)	ND(0.56)	ND(0.85)	
Cs-134(約2年)	9.1	10	11	10	9.7		3.0	2.7	2.4	1.4	2.0	
Cs-137(約30年)	18	15	16	17	23		4.1	ND(3.5)	ND(3.4)	4.8	4.2	
全β	-	-	-	-	-		-	-	-	-	-	
H-3(約12年)	-	-	-	-	-		-	-	-	-	-	

単位: Bq/L

	K排水路						BC排水路					
	10月19日	10月20日	10月21日	10月22日	10月23日		10月19日	10月20日	10月21日	10月22日	10月23日	
採取日	6:00	6:00	6:00	6:00	6:00		6:00	6:00	6:00	6:00	6:00	
採取時刻	0.5	0	0	0	0		0.5	0	0	0	0	
降雨量(mm/日)	解析中	解析中	解析中	解析中	解析中		解析中	解析中	解析中	解析中	解析中	
流量(m ³ /秒)	0.84	0.83	0.99	ND(0.80)	ND(0.88)		ND(0.56)	ND(0.55)	ND(0.57)	ND(0.75)	ND(0.59)	
Cs-134(約2年)	9.5	8.0	9.4	6.2	7.3		ND(0.69)	ND(0.82)	ND(0.73)	ND(0.75)	ND(0.86)	
Cs-137(約30年)	9.6	10	14	11	9.5		ND(3.4)	ND(3.8)	ND(3.3)	ND(3.4)	ND(3.0)	
全β	-	-	-	-	-		-	-	-	-	-	
H-3(約12年)	-	-	-	-	-		-	-	-	-	-	

* 本枠内が今回公表予一タ。他は10月23日までにお知らせ済み。

* 測定対象外の項目は「-」と記す。

* NDは検出限界値未満を表し、()内に検出限界値を示す。

2018年10月24日
東京電力ホールディングス株式会社
福島第一 廃炉推進カンパニー

福島第一港湾内、放水口付近、護岸の詳細分析結果(1/3)護岸地下水

単位: Bq/L (塩素除く)

採取日	地下水観測孔 No.0-1	地下水観測孔 No.0-1-2	地下水観測孔 No.0-2	地下水観測孔 No.0-3-1	地下水観測孔 No.0-3-2	地下水観測孔 No.0-4	地下水観測孔 No.1	地下水観測孔 No.1-6	地下水観測孔 No.1-8	地下水観測孔 No.1-9(注)	地下水観測孔 No.1-11	地下水観測孔 No.1-12	地下水観測孔 No.1-14	地下水観測孔 No.1-16	地下水観測孔 No.1-17
採取時刻							10月19日 8:38	10月19日 8:04			10月19日 7:52	10月19日 7:48	10月19日 8:40	10月19日 7:33	10月19日 8:22
塩素(単位: ppm)															
Cs-134(約2年)							ND(0.34)	1,500			ND(0.44)	5.1	ND(0.29)	1.9	ND(0.32)
Cs-137(約30年)							ND(0.45)	15,000			0.77	71	0.62	18	ND(0.49)
その他							ND	22			ND	ND	ND	ND	ND
全β							20,000	110,000			ND(14)	550	26,000	20,000	42,000
H-3(約12年)							46,000	3,100			940	33,000	1,600	1,500	20,000
Sr-90(約29年)															

採取日	地下水観測孔 No.2	地下水観測孔 No.2-2	地下水観測孔 No.2-3	地下水観測孔 No.2-5(注)	地下水観測孔 No.2-6	地下水観測孔 No.2-7	地下水観測孔 No.2-B	地下水観測孔 No.3	地下水観測孔 No.3-2	地下水観測孔 No.3-3	地下水観測孔 No.3-4	地下水観測孔 No.3-5(注)	3号機改修ウエル汲み上げ水	3号機改修ウエル汲み上げ水
採取時刻														
塩素(単位: ppm)														
Cs-134(約2年)														
Cs-137(約30年)														
その他														
全β														
H-3(約12年)														
Sr-90(約29年)														

* 本枠内が今回公表データ。他は10月20日にお知らせ済み。

* NDは検出限界値未満を表し、「その他γ」を除き()内に検出限界値を示す。

* 測定対象外の項目は「-」と記す。また、「その他γ」は検出されたときに記す。

(注) No.1-9, 2-5, 3-5は、採水器による採取であるため、γ測定は実施せず。全βは参考値としてγ測定後に測定。

5/9

6/9

福島第一港湾内、放水口付近、護岸の詳細分析結果(2/3)護岸地下水

採取日	単位: Bq/L (塩素除く)															
	No.0-1	No.0-1-2	No.0-2	No.0-3-1	No.0-3-2	No.0-4	No.1	No.1-6	No.1-8	No.1-9(注)	No.1-11	No.1-12	No.1-14	No.1-16	No.1-17	
採取時刻																
塩素(単位: ppm)																
Cs-134(約2年)							ND(0.44)	1,400	170		ND(0.34)	5.8	ND(0.41)	3.9	ND(0.38)	
Cs-137(約30年)							ND(0.48)	15,000	1,900		0.60	70	ND(0.47)	18	ND(0.51)	
その他							ND	15	ND		ND	ND	ND	ND	ND	
全β							19,000	94,000	10,000		ND(15)	530	25,000	18,000	43,000	
H-3(約12年)							分析中	分析中	分析中		分析中	分析中	分析中	分析中	分析中	
Sr-90(約29年)																
採取日	10月23日															
採取時刻	7:42															
塩素(単位: ppm)																
Cs-134(約2年)																
Cs-137(約30年)																
その他																
全β	130,000															
H-3(約12年)	分析中															
Sr-90(約29年)																

* NDは検出限界値未満を表し、「その他γ」を除き()内に検出限界値を示す。
 * 測定対象外の項目は「-」と記す。また、「その他γ」は検出されたときに記す。
 (注) No.1-9, 2-5, 3-5は、採水器による採取であるため、γ測定は実施せず。全βは参考値としてる過後に測定。

7/9

福島第一港湾内、放水口付近、護岸の詳細分析結果(3/3)海水

単位: Bq/L

	福島第一 5.6号機 放水口北側 (T-1)	福島第一 6号機 取水口前	福島第一 物掃場前	福島第一 1~4号機 取水口内北側 (東護岸北側)	福島第一 1号機 取水口 (遮水壁前)	福島第一 2号機 取水口 (遮水壁前)	福島第一 1~4号機 取水口内南側 (遮水壁前)	福島第一 南放水口 付近 (T-2)	福島第一 港湾口	福島第一 港湾内 東側	※ 告示濃度 限度	WHO飲料水 水質ガイドライン
採取日	10月23日	10月23日	10月23日	10月23日	10月23日	10月23日	10月23日	10月23日	10月23日	10月23日		
採取時刻	8:10	8:03	7:20	7:55	7:49	7:35	7:00	7:28	7:26			
Cs-134 (約2年)	ND(0.39)	ND(0.54)	ND(0.61)	ND(0.46)	ND(0.61)	ND(0.51)	ND(0.60)	ND(0.49)	ND(0.24)	60	10	
Cs-137 (約30年)	ND(0.47)	1.5	3.1	3.8	4.0	4.0	ND(0.57)	0.50	0.84	90	10	
全β	ND(16)	18	ND(16)	ND(16)	19	16	10	ND(16)	ND(17)			
H-3 (約12年)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	60,000	10,000	
Sr-90 (約29年)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	30	10	

単位: Bq/L

	福島第一 港湾内 西側	福島第一 港湾内 北側	福島第一 港湾内 南側	福島第一 港湾中央	福島第一 北防波堤 北側 (T-0-1)	福島第一 港湾口 北東側 (T-0-1A)	福島第一 港湾口 東側 (T-0-2)	福島第一 港湾口 南東側 (T-0-3A)	福島第一 南防波堤 南側 (T-0-3)	※ 告示濃度 限度	WHO飲料水 水質ガイドライン
採取日	10月23日	10月23日	10月23日	10月23日	10月23日	10月23日	10月23日	10月23日	10月23日		
採取時刻	7:24	7:22	7:30	7:16							
Cs-134 (約2年)	ND(0.28)	ND(0.34)	ND(0.27)	ND(0.62)						60	10
Cs-137 (約30年)	0.49	0.66	0.59	0.90						90	10
全β	ND(17)	ND(17)	ND(17)	ND(16)						60,000	10,000
H-3 (約12年)	—	—	—	—						30	10
Sr-90 (約29年)	—	—	—	—							

* NDは検出限界値未満を表し、()内に検出限界値を示す。

* 測定対象外の項目は「—」と記す。

※ 東京電力株式会社福島第一原子力発電所原子炉施設の保安及び特定核燃料物質の防護に関する規則に定める告示濃度限度
(別表第1第六欄:周辺監視区域外の水中の濃度限度[本表では、Bq/cm³の表記をBq/Lに換算した値を記載])

8/9

2018年10月24日
東京電力ホールディングス株式会社
福島第一廃炉推進カンパニー

福島第一原子力発電所 サブドレン・地下水ドレン浄化水の分析結果

単位: Bq/L

採取日	一時貯水タンクK (サンプルタンクK)		運用目録	告示濃度 限度 ※1	WHO飲料水 水質ガイドライン
	東京電力	第三者機関			
採取時刻	2018年10月20日	2018年10月20日			
貯水量 [m ³]	7:01	7:01			
セシウム134	630	630	1	60	10
セシウム137	ND(0.79)	ND(0.50)	1	90	10
その他 ガンマ核種	検出なし	検出なし	※2 検出されないこと		
全ベータ	ND(2.4)	ND(0.34)	3(1) (注)		
トリチウム	1,000	1,100	1,500	60,000	10,000

* 第三者機関: 東北緑化環境保全株式会社

* NDは検出限界値未満を表し、()内に検出限界値を示す。

(注) 運用目録の全ベータについては、10日に1回程度の分析では、検出限界値を1 Bq/Lに下げて実施。

※1 東京電力株式会社福島第一原子力発電所原子炉施設の保安及び特定核燃料物質の防護に関する規則に定める告示濃度限度
(別表第1第六欄: 周辺監視区域外の水中の濃度限度[本表では、Bq/cm³の表記をBq/Lに換算した値を記載])

※2 セシウム134, セシウム137の検出限界値「1Bq/L未満」を確認する測定にて検出されないこと(天然核種を除く)。

9/9

2018年10月24日
東京電力ホールディングス株式会社
福島第一廃炉推進カンパニー

福島第一原子力発電所 地下水バイパス 一時貯留タンク分析結果

単位: Bq/L

	Gr1(グループ1)		運用目標	※1 告示濃度 限度	WHO飲料水 水質ガイドライン
	東京電力	第三者機関			
採取日	2018年10月18日	2018年10月18日			
採取時刻	8:27	8:27			
貯水量 [m ³]	2,400	2,400			
セシウム134	ND(0.58)	ND(0.57)	1	60	10
セシウム137	ND(0.71)	ND(0.55)	1	90	10
その他ガンマ核種	検出なし	検出なし	※2 検出されないこと		
全ベータ	ND(0.66)	ND(0.60)	5(1)(注)		
トリチウム	120	130	1,500	60,000	10,000

* 第三者機関: 日本分析センター

* NDは検出限界値未満を表し、()内に検出限界値を示す。

(注) 運用目標の全ベータについては、10日に1回程度の分析では、検出限界値を1 Bq/Lに下げて実施。

※1 東京電力株式会社福島第一原子力発電所原子炉施設の保安及び特定核燃料物質の防護に関する規則に定める告示濃度限度
(別表第1 第六欄: 周辺監視区域外の水中の濃度限度 [本表では、Bq/cm³の表記をBq/Lに換算した値を記載])

※2 セシウム134、セシウム137の検出限界値「1Bq/L未満」を確認する測定にて検出されないこと(天然核種を除く)。

14:51 受

様式0-1 (1/2)

応急措置の概要 (原子炉施設)

(第18814報)

平成30年 10月 24日 14時35分

内閣総理大臣, 原子力規制委員会, 福島県知事, 大熊町長, 双葉町長 殿

第25条報告

報告者名 東京電力ホールディングス株式会社
福島第一廃炉推進カンパニー
福島第一原子力発電所
原子力防災管理者 磯貝 智彦
連絡先 0240-30-9301

原子力災害特別措置法第25条第2項の規定に基づき、応急措置の概要を以下の通り報告します。

原子力事業所の名称及び場所	福島第一原子力発電所 福島県双葉郡大熊町大字夫沢字北原22
特定事象の発生箇所(注1)	福島第一原子力発電所
特定事象の発生時刻(注1)	平成23年3月11日 16時36分(24時間表示)
特定事象の種類(注1)	非常用炉心冷却装置注水不能 (原災法政令第6条第4項第4号, 省令第21条第1項ロ)
発生事象と対応の概要(注2)	<p>(対応日時, 対応の概要)</p> <p>第18809報でお知らせしたとおり、サブドレン他水処理施設一時貯水タンクJに貯水していた水について、本日以下のとおり排水を実施しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・排水開始 : 10時17分 ・排水終了 : 13時43分 ・排水量 : 510m³ <p>排水状況については、漏えい等の異常がないことを確認しております。</p> <p>【公表区分：E】</p>
	※添付の有・無 <input checked="" type="checkbox"/>
その他の事項の対応(注3)	なし

備考 この用紙の大きさは、日本工業規格A4とする。

(注1) 最初に発生した警戒事態該当事象の発生箇所, 発生時刻, 種類について記載する。

(注2) 設備機器の状況, 故障機器の応急復旧, 拡大防止措置等の時刻, 場所, 内容について発生時刻順に記載する。

(注3) 緊急時対策本部の設置状況, 被ばく患者発生状況等について記載する。